

2007 年度 第1回 金融機関関連ワークショップ開催

委員長挨拶（西岡委員長）

金融ワークショップは業務開発・広報委員会の活動の一環だが、業務開発広報委員会「業務開発」に力点をおいて、いかにITCのビジネスを引き出すかに注力している。金融連携は、公庫、地銀、信金などの金融機関を対象にITCビジネスを拡大する活動だが、なかでも中小企業金融公庫は、対象の顧客に優良の中小企業がおおく、また経済産業省との連携も密であることから、ITC協会としても、第一に連携強化をはかるべき機関として活動をすすめてきた。

連携の出発点は大阪地区で、中小企業金融公庫の支店を対象に開催したITCの役割の説明会で、ある支店長のこんな発言が構想のスタートだった。「公庫が公庫のお客さまをITCに紹介し、お客さまがITCを利用・活用してIT経営を進め、公庫がその実行に必要な資金をお客さまに融資する仕組みは実現できないか」と。ITCが公庫からお客を紹介してもらうだけという一方通行ではなく、ITCの活動が公庫にとってもメリットを生むという、両者のWin-Winモデルになっている点に大きな意味がある。

また、ワークショップという形態をとっている意味は、全国のビジネス指向のITCやITC組織が自由に集まって、活動の成功例、失敗例を共有し、成功のためのノウハウを、お互いに汲み取っていけるようにするためである。金融WSだけではなく、他にも地域ワークショップという形で、全国を6つのブロックにわけて、同様に情報共有・情報交換の場を設けているのも同様の視点からである。

ぜひ、参加者にとって意義あるワークショップにしていきたい。